

1 1 教育

	タイトル	意見等
1	徳島県総合教育会議	<p>○ 後藤田正純徳島県知事は徳島県総合教育会議においては、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県立高等学校の普通科をすべて文理科へと学科変更を行うこと。 ※ 大学の経済学部並びに商学部の経済学・経営学・財政学・統計学・会計学・簿記論には、数学の知識が必要</li> <li>2. 徳島県立鳴門高等学校・徳島県立阿波高等学校・徳島県立脇町高等学校に理数科を復活させること</li> <li>3. 徳島県立城ノ内中等教育学校を「徳島における東京都立小石川中等教育学校」にすること。</li> <li>4. 徳島県立徳島県立北高等学校を「徳島県立徳島国際高等学校」へと学校名変更を行うこと。 ※ 東京都立国際高等学校・神奈川県立横浜国際高等学校、兵庫県立国際高等学校など</li> <li>5. 徳島県立徳島科学技術高等学校を「徳島における東京都立科学技術高等学校」にすること。</li> </ol>
2	学校の先生	<p>我が子のときは、あまり、気にならなかったのですが、孫が支援学校に通うことになり、臨時の先生の多さに驚いています。臨時の先生が悪いとは思いませんが、話を聞くと、採用試験を受けていない、臨時の先生が多いことに軽く憤りを感じます。我々の税金です。塾ではないのです。悪い言い方ですが、臨時の先生だからこそ、子ども的人数で契約せずに切り捨てができるので、その点では、税金を無駄に使っていないことに繋がると思いますが、正規の先生になりたい、と頑張っている臨時の先生方に教えてほしいものです。</p>
3	公立学校教員不足解消への提言	<p>徳島県出身で、よく帰省しております。 教員不足解消、かつ、質の高い教員採用に、とっておきの秘策があります。 昔のように、夏休み、冬休みの教員の職場勤務を無くし、長期休暇を自由に過ごせるようにするのです。 30年～40年前、夏に外国旅行をすると、自由旅行をしているたくさんの教員に会い、羨ましく思ったものです。制度が変わり、夏休みの自由を奪われ、毎日学校で教材研究や生徒指導に明け暮れるようになりました。それらの仕事から解放し、自由に過ごすことで、大きな視野を持って、主体的に行動できる、人間的にも魅力のある人々が徳島県に集まって来ましょう。夏休み1ヶ月がフリーになるとしたら、私なら、それ以外の期間の残業もあまり苦にならないでしょう。 旅行だけでなく、家事、育児に奮闘する教師、田んぼや畑で汗を流す教師、趣味に打ち込む教師…先生が外国で見たこと聞いたことに子どもたちは目を輝かせる事でしょう。夏休みに育てた野菜などに子どもたちは興味を持ち、自分もしてみたいと思う事でしょう。</p>